

令和6年度
全国学力・学習状況調査
指導方法等の改善計画

呉市立昭和中学校
(昭和中学校区)

全国平均値との差

	国語	数学
呉市教育振興基本計画〈指標〉	+5.0	+5.0
令和8年度	—	—
令和7年度	—	—
令和6年度	−6.0	−8.0
令和5年度	+4.2	+3.0
令和4年度	−6.0	−8.4

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎…各学校 ◇…中学校区

国語 本校 52.0% 全国 58.1% 県 58.0% 話すこと・聞くこと 書くこと 読むこと 言葉の特徴や使い方 我が国の言語文化 情報の扱い方	重点課題	◎文章の内容の読み取りにおいて、目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈することに課題がある。【読むこと】(正答率 30.8 全国平均との差-11.8) ◇文章の内容の読み取りにおいて、目的に応じて必要な情報を収集することに課題がある。
	改善の方策	◎文章の読み取りの学習において、条件に従って要約する活動を設定する。その時に、設定された条件の中でポイントになる語句に線を引いたり、その条件に関わる本文中のキーワードに線を引いたりして必要な情報を捉えられるようにする。 ◇文章の全体を捉え、キーワードを探しながら読む力をつける学習活動を組み入れる。
	検証	◎全国学力(設問2)(第2学年, 2月) 目標 60% ◇全国学力(設問2)をすべてする。(第2学年, 2月) 目標 60%
数学 本校 44.0% 全国 52.5% 県 52.0% 数と式 図形 関数 データの活用	重点課題	◎方程式を解いたり、二元一次方程式を関数関係を表す式とみて考察したりする場面において必要となる、数や式などを活用して数学的に処理することや目的に応じて等式を変形することに課題がある。【数と式】(全国平均との差-21.4) ◇事象についての数量関係を捉え、その関係を図や式で表し、解き進めることに課題がある。
	改善の方策	◎数や図形の性質が成り立つことを説明するときに、目的に応じてきまりに従って変形し、具体的な場面に即して目的に応じて式を変形する活動を設定する。 ◇図や式、文章に着目させて数量関係を捉える活動を通して、解法への筋道を理解させる。
	検証	◎全国学力(設問2)(第2学年, 2月) 目標 70%

【来年度に向けて】